

2022年5月26日

各位

東京ウイスキー&スピリッツコンペティション 2022

焼酎部門 受賞結果発表

「東京ウイスキー&スピリッツコンペティション 2022 (TWSC2022)」の焼酎部門の受賞結果を2022年5月26日付けにて発表いたします。TWSCは2019年に洋酒部門のみで初開催され本年度で4回目、焼酎部門は2020年からの実施で3回目です。2021年秋にエントリーを受け付け、本年2月から5月にかけてリモート形式の審査を実施しました。焼酎部門では、のべ101名の審査員が審査に当たりました。

主催はTWSC実行委員会、企画・運営はウイスキー文化研究所。

- ・本年度の出品数は281本、昨年より26本増加
- ・受賞本数は最高金賞24本、金賞134本、銀賞77本、銅賞38本
- ・一次審査、二次審査ともリモート形式を採用、のべ101名が審査
- ・洋酒部門の各賞は5月18日に発表済み、6月には特別賞の発表を行う予定

東京ウイスキー&スピリッツコンペティション (TWSC) とは

○アジア最大級・日本唯一

日本唯一のウイスキー、スピリッツ、焼酎の品評会で、その規模はアジア最大級です。
(TWSC全4回の累積実績)

出品数 2,711本 / ウイスキー962本、スピリッツ 955本、焼酎 794本

○全国の洋酒専門家、焼酎専門家 300名以上が審査

ウイスキー文化研究所設立から20年かけて培った信頼関係で、全国の専門家300名以上(洋酒焼酎両部門合計)に審査員として協力をいただいています。バーテンダーやメーカー、インポーターの他、ウイスキーコンニサー資格を所持した方々も数多く参加しています。

○ブラインドテイスティングで審査

ブラインドテイスティングにて審査することで、余計な情報に左右されずにボトルに真剣に向き合ってください。

最高金賞受賞アイテム一覧



	商品名	度数	出品企業名
芋焼酎	侍士の門	25%	太久保酒造株式会社
芋焼酎	天使の誘惑	40%	西酒造株式会社
芋焼酎	天星宝醇 赤	42%	天星酒造株式会社
芋焼酎	天の刻印 CRAFT 芋	25%	佐藤焼酎製造場株式会社
芋焼酎	万暦	44.5%	西酒造株式会社
芋焼酎	日南海	25%	櫻の郷酒造株式会社
麦焼酎	こげん	25%	鷹正宗株式会社
麦焼酎	醇雅 麦	28%	瑞鷹株式会社
麦焼酎	初潮	25%	西吉田酒造株式会社
麦焼酎	らんびき SHINY GOLD SHERRY CASK	42%	ゑびす酒造株式会社
米焼酎	極楽 しず薫 6年	42%	有限会社林酒造場
米焼酎	極楽	25%	有限会社林酒造場
米焼酎	高田のはなたれ	44%	合資会社高田酒造場
米焼酎	常庄 豊永蔵	25%	合名会社豊永酒造
黒糖焼	じょうご 世界自然遺産登録ラベル	25%	奄美大島酒造株式会社
黒糖焼	浜千鳥乃詩 ゴールド	40%	奄美大島酒造株式会社
黒糖焼	紅さんご	40%	株式会社奄美大島開運酒造
泡盛	海乃邦 KOHAKU 12年	43%	沖縄県酒造協同組合
泡盛	尚円の里	30%	合資会社伊是名酒造所
泡盛	千年の響	43%	有限会社今帰仁酒造
酒粕焼酎	浦霞	25%	株式会社佐浦
酒粕焼酎	宜有千萬	40%	八海醸造株式会社
その他焼酎	孤独な天使	36%	井上酒造株式会社
その他焼酎	マヤンの眩き	38%	雲海酒造株式会社

※全受賞アイテムは別紙「TWSC2022 焼酎部門 受賞結果一覧」をご参照ください。

出品数と各賞（最高金賞、金賞、銀賞、銅賞）の受賞数

<出品数>

出品数は 281 本と、昨年から 26 本増加しました。顕著に増加がみられたカテゴリーは、麦焼酎 (+18 本)、米焼酎 (+12 本) で、反対に減少したのは黒糖焼酎 (-5 本)、泡盛 (-5 本) などがあります。なお、2022 年度より甲類焼酎と混和焼酎の審査も受け付けているので、9 本が増加となりました。

カテゴリー	2022 出品数	2021 出品数	前年比（増減）	前年比（%）
芋	98	102	-4	96.1%
麦	68	50	+18	136.0%
米	44	32	+12	137.5%
黒糖	12	17	-5	70.6%
泡盛	30	35	-5	85.7%
酒粕・その他	20	19	+1	105.3%
甲類・混和	9	-	+9	-
	281	255	+26	110.2%

<受賞数>

受賞数は 273 本で、内訳は最高金賞 24 本、金賞 134 本、銀賞 77 本、銅賞 38 本となりました。昨年度と比べ、相対的に金賞の受賞本数が増加いたしました。

カテゴリー	最高金	金	銀	銅	受賞なし
芋	6	45	25	19	3
麦	4	27	23	11	3
米	4	25	9	5	1
黒糖	3	6	3	0	0
泡盛	3	20	7	0	0
酒粕・その他	4	9	6	0	1
甲類・混和	0	2	4	3	0
	24	134	77	38	8

審査方法（焼酎部門）

<一次審査 [リモート審査] >

審査員の総数は83名。審査員に審査対象を明かさないうブラインドテイastingにて審査を行い、①アロマ②フレーバー③総合の3つの観点から100点満点で評価されます。出品ボトルを小瓶分けしたものと、指定のテイastingグラスなどの一式を用いて、各審査員が個別で審査いたしました。このとき、1人の審査員が担当するボトルは35アイテム前後で、1アイテムに対しては10名以上が審査いたしました。この一次審査を集計し、実行委員会にて最高金賞から銅賞までの各賞を決定しました。

<二次審査 [リモート審査] >

二次審査では、一次審査の上位アイテムの中をアルコール度数で2カテゴリーに分け、18名（のべ36名）の特別審査員があらためて評価を行いました。アルコール度数25%以下の「25度帯」で14本、それより高い「高度数帯」で15本の合計29本が対象となりました。この結果をもとに特別賞「Best of the Best」を決定いたします。審査方法は一次審査と同様です。

<審査基準について>

審査員は事前に解説動画を見ながら共通のサンプルをテイastingし、審査基準のすり合わせを行いました。また、この解説動画はWEB上で公開されており、どなたでも閲覧できるようにしております。TWSCでは、採点基準や採点方法をガイドブックやウイスキーガロア誌上で公開し、透明性の高い公正な審査を行っております。

特別賞の発表について

TWSCでは最高金賞から銅賞までの各賞に加えて、特別賞を設定しております。各ボトルの品質や、デザイン、蒸留所の活動といった様々な視点で評価するものです。本年は「Best of the Best」を2部門に拡大する他、「デザイン賞」といった新しい賞も設立いたします。

※特別賞の結果発表は[プレスリリース(2022年6月)]と[TWSC2022洋酒部門 授賞式(2022年7月)]に分割して行う予定です。(授賞式はオンラインでの開催を予定しています)

ウイスキー文化研究所

ウイスキー文化研究所は、ウイスキー評論家の土屋守が代表を務める愛好家団体で、世界中のウイスキーの情報発信を行っています。2001年3月の発足以来、ウイスキー専門誌「Whisky Galore」の発行をはじめ、「ウイスキーフェスティバル」や「コニサー資格認定制度」、「ウイスキー検定」など様々な取り組みを行っています。(HP:<https://scotchclub.org/>)

TWSC 実行委員長／ウイスキー文化研究所代表 土屋守プロフィール

1954年新潟県佐渡生まれ。1987年から1993年の駐英取材経験を基にウイスキージャーナリストとして活動し、1998年にはハイランド・ディスティラーズ社より「世界のウイスキーライター5人」の1人として選ばれる。帰国後にウイスキー文化研究所（当時はスコッチ文化研究所）を立ち上げ、各地での講演や執筆活動、ウイスキーコニサー試験、ウイスキーフェスティバル、ウイスキー検定の企画運営、そしてウイスキー専門誌の発行などを通じて、日本にウイスキーとその文化を広めるため精力的に活動している。2014年放送開始のNHK連続テレビ小説「マッサン」ではウイスキー考証として監修を務めた。

『完全版シングルモルトスコッチ大全』、『ブレンデッドウイスキー大全』（小学館）、『竹鶴政孝とウイスキー』（東京書籍）、『ビジネス教養としてのウイスキー なぜ今、高級ウイスキーが2億円で売れるのか』（KADOKAWA）、『人生を豊かにしたい人のためのウイスキー』（マイナビ出版）など著書多数。隔月刊誌『Whisky Galore』の編集長を務める。

お問い合わせ先

ウイスキー文化研究所 TWSC 事務局

〒150-0012 東京都渋谷区広尾 5-23-6 長谷部第10ビル2階

TEL : 03-6277-4103 / Fax : 03-3445-6229 / E-MAIL : twsc@scotchclub.org

HP : <http://tokyowhiskyspiritscompetition.jp/>
